

起業家精神で社会の課題解決

高校生アイデア競う

下京で国際大会予選会 代表に田辺高



エネルギー問題を解決する製品企画を話し合う高校生ら（京都市下京区、ひと・まち交流館京都）

高校生が起業家精神を養いながら社会の課題解決のアイデアを競う「グローバル・エンタープライズ・チャレンジ2008」が三十一日、京都市下京区の一と・まち交流館京都で開かれた。持続可能な社会づくりのために「エネルギー問題を解

決する製品企画」が課題として出され、生徒たちは新エネルギーを生かしたビジネスプランを提案した。起業精神を養う学習支援に取り組むNPO法人（特定非営利活動法人）アントレプレナシップ開発センター（事務局・中京区）の主催。国際大会の国内予選会を兼ね、京都すばる、伏見工、同志社国際、田辺の府内四高校と、兵庫県のみ石工高専、奈良県の奈良高が参加した。生徒たちは五時間の制限時間内に、府内の起業家らの助言を受けながら、磁力や地熱を活用した発電装置や光発電の携帯電話、ペットボトルを不要にする水筒用の飲料水自販機の開発など、個性的なプランをまとめた。アドバイス役を務めた中京区のIT関連会社の小中央絵里社長は「大人でも気づかない大胆な発想をしている」と評価していた。審査の結果、海流のエネルギーによる発電

システムを提案した田辺高チームが日本代表に選ばれ、六月二十二日からオーストラリアで開かれる国際大会の出場権を得た。

（佐久間卓也）